

公開実用 昭和64- 7618

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭64- 7618

⑬ Int. Cl.⁴
E 04 C 1/10

識別記号
L-7238-2E

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月17日

審査請求 有 (全 頁)

⑮ 考案の名称 積み重ね式コンクリートブロック

⑯ 実 願 昭62-102058

⑰ 出 願 昭62(1987)7月2日

⑱ 考案者 大森 行信 京都府城陽市大字久世小字里の西123の9

⑲ 出願人 大森 行信 京都府城陽市大字久世小字里の西123の9

⑳ 代理人 弁理士 新実 健郎 外2名

明細書

1 考案の名称

積み重ね式コンクリートブロック

2 実用新案登録請求の範囲

(1) 平坦な頂面および底面を有し、前記各面をつき合せて積み重ね、壁、基礎土台等を構築するためのコンクリートブロックにおいて、

前記頂面および底面の各対応するそれぞれ少なくとも二つの位置に、有効深さDで内径 r_1 のパイプ部材を植設したコンクリートブロックからなり、前記コンクリートブロックを、前記パイプ部材の内径 r_1 に嵌り合う外径 r_2 を有する長さ L ($L \leq 2D$)の連結ピン部材を嵌め合せて連結するようにしたことを特徴とする積み重ね式コンクリートブロック。

(2) 前記パイプ部材および連結ピン部材が金属材あるいは硬質プラスチック材からなることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項に記載の積み重ね式コンクリートブロック。

公開実用 昭和64-7618

2

3 考案の詳細な説明

(a) 産業上の利用分野

この考案は、積み重ねて壁、塀、基礎土台等を構築するためのコンクリートブロックに関するものであり、特に、各コンクリートブロックの積み重ね施工を正確にかつ簡易的に行いうるようになしたコンクリートブロックである。

(b) 従来の技術およびその問題点

周知のように、従来の積み重ね式コンクリートブロックは、コンクリートブロック自体に積み重ね連結のための何らの手段も設けられていない。したがつて、この種のコンクリートブロックの積み重ね施工には、施工現場において紐を張りわたし、該張紐を目印にして積み重ね、目地連結する作業によつて行なわれていた。このコンクリートブロックの積み重ね作業は、高度の技術と熟練を必要とし、素人にとつてはきわめて困難なものであつた。

(c) 本考案の技術的課題

そこで、この考案は、きわめて簡単に、かつ

3

きわめて正確、確実に積み重ね施工することができる積み重ね式コンクリートブロックを提供することにある。

(d) 本考案の技術的手段

この考案は、上記する目的を達成するにあたって、具体的には、平坦な頂面および底面を有し、前記各面をつき合せて積み重ね、壁、基礎土台等を構築するためのコンクリートブロックにおいて、前記頂面および底面の各対応するそれぞれ少なくとも二つの位置に、有効深さDで内径 r_1 のパイプ部材を植設したコンクリートブロックからなり、前記コンクリートブロックを、前記パイプ部材の内径 r_1 に嵌り合う外径 r_2 を有する長さL ($L \leq 2D$) の連結ピン部材を嵌め合せて連結するようにした積み重ね式コンクリートブロックである。

(e) 本考案の実施例

以下、この考案になる積み重ね式コンクリートブロックについて、図面に示す具体的な実施例にもとづいて詳細に説明する。

公開実用 昭和64-7618

4

この考案によるコンクリートブロック(1)は、平坦な頂面(2)および平坦な底面(3)を有し、該各面(2)および(3)に対して、その各対応する位置に有底穴(4)を介してパイプ部材(5)が植設されている。前記パイプ部材(5)を植設する個所は、第2図Aに示すように当該コンクリートブロック(1)を、各層ずらすことなく同位相的に積み重ねることだけを考慮した場合、第2図Bに示すように最低二個所でよい。しかしながら、第3図Aに示すように各層を半個分づつ変位させて施工するような場合には、第3図Bに示すように8個所にパイプ部材を植設したものが好ましい。前記パイプ部材(5)は、金属材、硬質プラスチック材によつて形成される。前記パイプ部材(5)は、コンクリートブロック(1)に有効深さDの有底穴を形成するものであり、自身底を備えたものであつてもよいし、あるいは貫通するパイプでコンクリートブロック自体を底とするものであつてもよい。前記パイプ部材(5)の内径φは、約5～10mmであり、長さは、約25mm程度であ

る。

一方、連結ピン部材(6)は、金属材、硬質プラスチック材によつて形成されるものであり、前記パイプ部材(5)の内径 r_1 にスムーズに嵌り合う外径 r_2 を有し、長さ L が約 50 mm 程度のものからなつてゐる。前記連結ピン部材(6)は、パイプ状のものであつてもよいし、あるいはシャフト状のものであつてもよい。

以上の構成になるこの考案のコンクリートブロックは、その積み重ね施工時に、下部のコンクリートブロックにおける頂面のパイプ部材(5)内に、連結ピン部材(6)を嵌め合せ、前記連結ピン部材(6)を上部のコンクリートブロックにおける底面のパイプ部材に嵌合させることによつて、上部および下部のコンクリートブロックを一平面的に整合させて積み重ねることができる。

尚、この考案になるコンクリートブロックは、確実に一平面的に整合させて壁、塀等を施工することができるという作用効果に関連して、当該構築されたコンクリートブロック壁、あるいは

公開実用 昭和64-7618

6

はコンクリートブロック塀の面一外表面に化粧板を取り付けることができる。そのような場合、当該コンクリートブロック(1)の側面(7)には、予め定めた複数個所にナット部材(8)が植設される。当該ナット部材(8)は、構築された前記コンクリートブロック壁、あるいはコンクリートブロック塀に対し、その面一外表面に化粧板をネジ等によつて取り付ける場合に有効に作用する。

(f) 本考案の効果

この考案になる積み重ね式コンクリートブロックは、上記するように、きわめて簡単な操作で、平面的に整合した壁、塀を正確かつ確実に構築施工することができるものであり、作業性等の面においてきわめて実効の高いものであるといえる。

4 図面の簡単な説明

第1図は、この考案になる積み重ね式コンクリートブロックの一例を示す概略的ー部破断斜視図、

第2図AおよびBは、一つの施工態様と、その施工態様に好ましい当該コンクリートブロックの例を示す一部破断側面図および平面図、

第3図AおよびBは、他の施工態様と、その施工態様に好ましい当該コンクリートブロックの例を示す一部破断側面図および平面図、

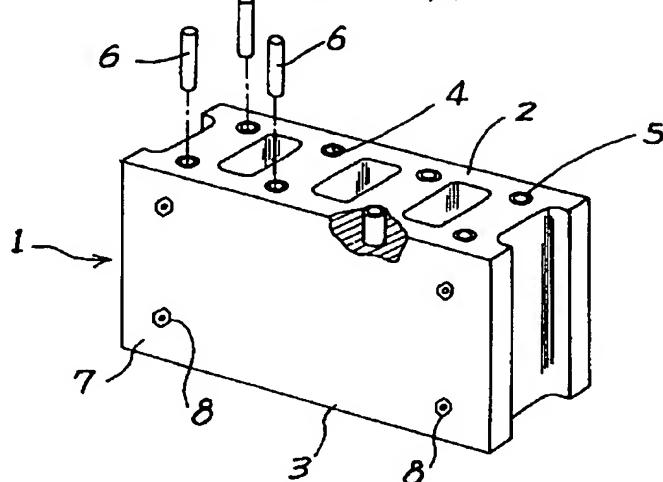
第4図は、パイプ部材と連結ピン部材の斜視図である。

- (1) - - - - - コンクリートブロック
- (2) - - - - - ブロック頂面
- (3) - - - - - ブロック底面
- (4) - - - - - フォア部材 穴
- (5) - - - - - パイプ部材
- (6) - - - - - 連結ピン部材

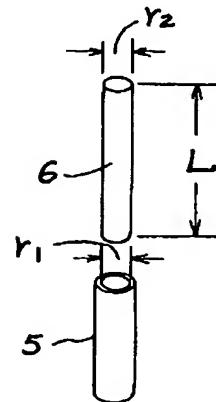
5号

公開実用 昭和64- 7618

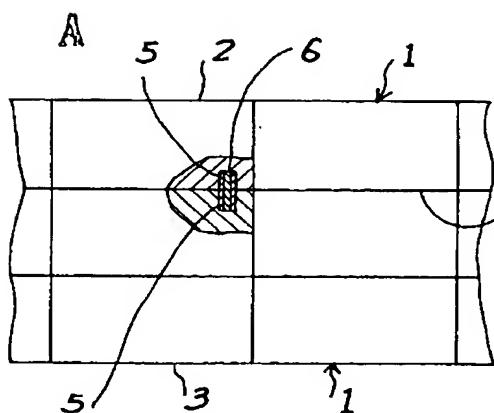
第一図



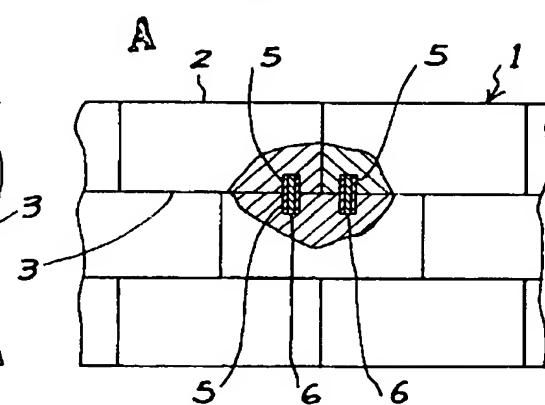
第四図



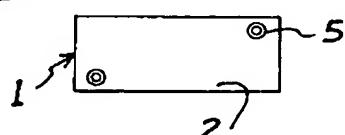
第二図



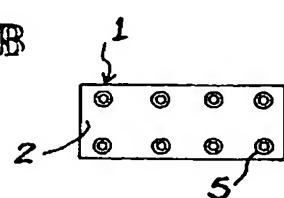
第三図



B



B



実用新案登録出願人

大森 行信

代 理 人

新美 健郎、外2名

249

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.